

地域連携通信

vol.4

2026
1月発行

Jichi Medical University
Saitama Medical Center

副センター長のご挨拶



副センター長(兼)
外来診療運営部長

藤田 英雄

外来診察の予約・変更が、よりスムーズになりました ～AI（人工知能）による電話受付とオンライン予約のご案内～

自治医科大学附属さいたま医療センターは、地域のクリニックや病院からご紹介いただいた患者様に対し、高度な検査・治療・手術を提供する地域医療支援病院としての役割を担っております。

これまで多くの皆様より「電話がつながりにくい」とのご意見を頂戴しておりました。こうしたお声を受け、外来診察の予約・変更をより円滑に行っていただけるよう、このたび新たな取り組みを開始いたしました。

1. AI（人工知能）による電話受付を導入しました（2025年5月～）

外来診察の予約・変更・キャンセル等でお電話をいただいた際、まずAI音声ガイドがご用件をお伺いします。

これにより、●電話をつないだまま長時間お待ちいただく必要がなくなり●AIが受付内容を整理したうえで●後ほど担当オペレーターより折り返し（コールバック）のお電話を差し上げ詳細を直接確認という流れで、安心かつ確実に予約手続きが完了いたします。

2. 医療機関専用Web初診予約を開始しました（2025年11月～）

さらに、地域の医療機関様向けに、医療情報を添付したうえで《Web上から直接初診予約が可能な「医療機関専用Web予約」》を開始しました。

これにより、紹介状や検査情報を事前に確認し、よりスピーディーな初診受診が可能となります。

今後も当センターでは、患者様および地域医療機関の皆様にとって、より利用しやすく、信頼いただける医療体制の構築に努めてまいります。

待ち時間の短縮を図るとともに、外来診療が地域全体でより円滑に行われるよう、引き続き改善を進めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

AI電話につきましては当センタートップページをご参照ください。

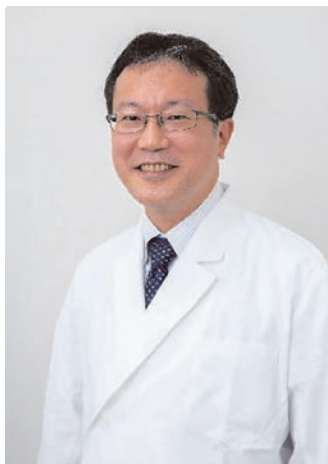
オンライン予約サイトはこちらとなります。

※医療機関様専用となりますので患者様からの予約はお受けできません。



運用に関するお問合せ：センター代表番号 ☎048-647-2111 医事課外来係

呼吸器内科



呼吸器内科 科長

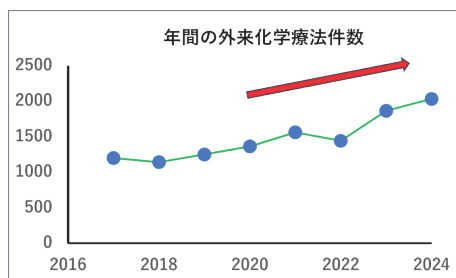
山口 泰弘

呼吸器内科は、当センター開設時、附属病院（栃木）から倉富雄四郎講師が派遣され診療を行っていました。平成13年からは、小山信一郎医師が教授として長きにわたり当診療科を盛り立ててまいりました。令和元年5月に、山口泰弘が呼吸器内科教授に就任し、現在に至ります。県内に呼吸器内科をもつ病院が少なく、当科には、さいたま市のみならず、上尾市や桶川市、北本市を含む県央地域、久喜市や白岡市などの利根地域、あるいは春日部市や川口市からも多くの患者様が受診しています。

呼吸器内科の領域には、悪性腫瘍、間質性肺炎、感染症、喘息、COPD、睡眠呼吸障害と非常に多彩な疾患が含まれますが、我々はいずれにも対応できるように研鑽を積んでいます。検診での胸部異常陰影のみで受診される方もいれば、他の中核病院で診断治療に難渋して受診される方もいます。代表的な受診理由や、紹介時の診断（疑い例を含む）を表にしてみました。

当院呼吸器内科受診理由
胸部X線異常陰影、胸部CT異常陰影 (肺癌疑い、間質性肺炎疑い、肺非結核性抗酸菌症疑い、真菌症疑い、胸水など)
集学的な検査、治療が必要な胸部悪性腫瘍
呼吸困難（間質性肺炎、COPD、喘息、原因不明など）
長引く咳嗽
血痰（肺癌疑い、肺非結核性抗酸菌症疑い、気管支拡張症）
その他、いろいろ

近年、呼吸器疾患領域の治療は大きく進歩しています。肺非結核性抗酸菌症の治療も変化していますし、増悪を繰り返す難治性喘息にはバイオ製剤がしばしば劇的な効果を示します。なかでも肺癌治療の進歩は画期的で、ステージ4でも5年以上生存するケースがたくさんいます。



総勢8名前後の医師からなる小さな診療科ですが、当科でみている肺癌症例数は、年々上昇しています。外来肺悪性腫瘍化学療法件数の年次変化を表にしました。まさに右肩上がりです！

2024年の入院患者数は652名で、肺癌（疑いを含む）414名、悪性胸膜中皮腫3名、縦隔腫瘍16名などです。気管支鏡件数はのべ237件で、そのうち153件が肺癌疑いでの検査でした。

呼吸器外科との密な連携も大きな特徴です。毎週、呼吸器外科との合同カンファレンスを開催して症例検討しています。手術適応があれば、速やかに呼吸器外科にも受診できますので、肺癌を疑う胸部異常陰影については、呼吸器外科に紹介いただくことでも当科に紹介いただくことでも結構です。非常に積極的に外科生検や外科治療を適応していますが、それでも手術適応とならない症例、および術前術後の化学療法を我々が担当しています。ADLが維持されていれば、たとえ肺癌ステージIVでも長期の生存の可能性はあります。極めて進行の早いケースでは難しいこともありますが、元気うちに診断できることが、その後の予後を左右しますので、気軽にご紹介ください。

呼吸器外科



呼吸器外科 科長 遠藤 俊輔

〈手術数全国ランキング；肺癌 8 位、気胸 3 位、膿胸 2 位〉

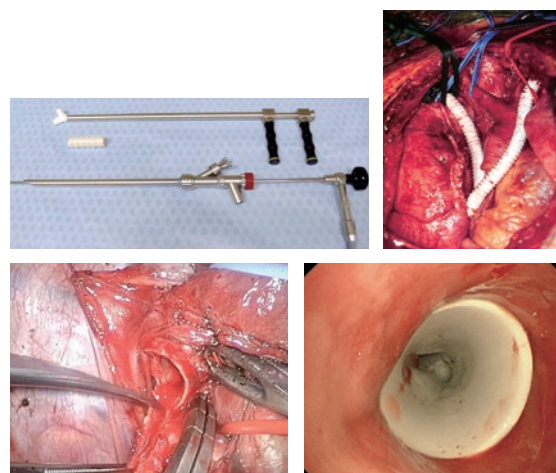
自治医科大学附属さいたま医療センター 呼吸器外科では、肺癌を中心に、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、胸壁腫瘍など、多岐にわたる胸部疾患に対して外科治療を行っております。2024年には肺癌手術約260件、年間総手術件数約740件と、国内でも有数の症例数を有しております。

肺癌診療においては、がん診療連携拠点病院として、呼吸器内科・放射線治療部をはじめとする各診療科・各職種と密接に連携し、化学療法・放射線治療を含めた治療選択を多角的に検討し、患者様一人ひとりの病態に応じて最も適した治療をご提案できるよう努めております。術式においても、胸腔鏡手術を中心とした低侵襲手術を積極的に導入し、術後の負担軽減に努める一方で、進行例に対する高難度手術にも積極的に取り組んでおります。また、気管支鏡による処置にも力を入れており、気道内の腫瘍・異物・出血などにも幅広く対応しております。

さらに、高齢化に伴い心疾患や腎疾患などの併存症を有する患者様が增加する中、当センターの強みである多診療科との連携のもと、治療の選択肢を諦めることなく、適切な外科治療を提供できる体制を構築しております。

また、救命救急センター、麻酔科、手術部と

連携し、膿胸・縦隔炎などの重症感染症や気胸などの緊急症例にも24時間対応しております。ご紹介いただく患者様については、原則として1週間以内に受診可能な初診枠を確保し、早期の診療開始により患者様の不安を最小限にできるよう努めております。今後も近隣の病院・診療所の先生方と連携を一層深め、ご紹介いただいた患者様に対し、迅速かつ最適な医療を提供できるよう尽力してまいります。呼吸器疾患に関してお困りのことがございましたら、どんな些細なことでも構いませんので、お気軽に当科へご相談ください。



膵・消化管神経内分泌腫瘍(NET)の患者さん 当院へご相談ください。

埼玉県内でルタテラ®治療が可能な3施設の一つとして、集学的治療をワンストップで提供しています。

① NET（神経内分泌腫瘍）とは

膵臓や消化管などの神経内分泌細胞から発生する希少腫瘍です。

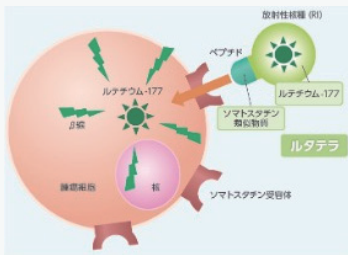
- ・比較的稀な疾患ですが、日常診療で遭遇する可能性があります。
- ・進行が緩やかな例もあれば、急速に進行する例もあります。
- ・診断時に既に転移を伴っているケースも少なくありません。

治療方針の決定には、
専門的な画像診断や病理評価が重要です。

② ルタテラ®治療の位置づけとエビデンス

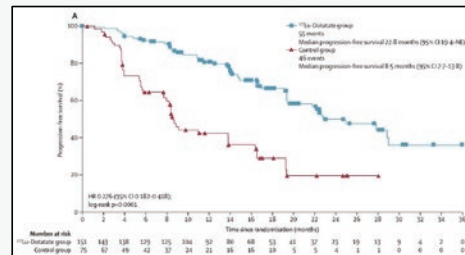
◎ 治療の仕組み (PRRT)

腫瘍細胞のソマトスタチン受容体に結合し、放出されるβ線で内側から腫瘍を攻撃します。



✔ NETTER-2試験 (NET G2/G3)

一次治療において、オクトレオチドLAR単独と比較し病勢進行を抑制する効果が示されました (Simron Singh et al. The Lancet, 2024)。



標準的な治療スケジュール ※原則1泊2日の入院を計4回行います



③ 当院の特徴：集学的治療体制

埼玉県内でルタテラ®治療が可能な施設は非常に限られています。【2025年12月現在：3施設】
消化器内科・外科・放射線科が連携し、病態に応じた最適な治療を選択します。


 内視鏡治療


 外科手術


 薬物療法


ルタテラ治療

📞 外来予約 (外来初診予約コールセンター) 048-788-2788 ・相談窓口 (地域医療連携室) 048-648-5167

(紹介先) 膵NET 消化器内科 関根 匡成
消化管NET 一般・消化器外科 市田 晃佑

※膵NET・消化管NETいずれの場合も、どちらの診療科へご紹介いただいても構いません。



自治医科大学附属さいたま医療センター

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847 TEL.048-647-2111(代) FAX.048-648-5166 <https://www.jichi.ac.jp/center>